

PRESS RELEASE

2012年3月12日

報道関係各位

**総合病院 国保旭中央病院
千葉県地域医療再生計画に基づき、
県との協働による「地域医療支援センター」を開設**

.....

総合病院国保旭中央病院（所在地：千葉県旭市イの1326番地 病院長：吉田 象二 以下、旭中央病院）は、このたび、香取海匠保健医療圏の地域医療再生計画の拠点病院として、「地域医療支援センター」を開設いたしました。

地域医療再生計画は、平成21年に国が各都道府県に対し、医療圏単位での医療機能の強化、医師等の確保など、地域の医療課題の解決に向けた計画を策定し、計画に基づく事業に対して地域医療再生臨時特例交付金を交付しているもので、千葉県では山武長生夷隅圏域と香取海匠圏域での取組に対して国の支援が決定しました。そのうち、香取海匠地域においては、「地域医療の機能再編」を主目的に、千葉大学の協力のもと、千葉県と当院が協働で推進しているものです。

「地域医療支援センター」についての詳細は、次ページ以降をご覧ください。



地域医療支援センター のご案内

目次

- 1. センター開設の背景
- 2. センターの役割
- 3. 「教育ユニット」の概要
- 4. 施設のご案内
- 5. 開設にあたって
- 6. 旭中央病院について

1. 地域医療支援センター開設の背景

国は、崩壊の危機に直面している地域医療の再生を図るため、平成 21 年に各都道府県に対し、「地域の医療課題の解決に向けた医療圏単位での医療機能の強化、医師確保への取組」を呼びかけ、「地域医療再生臨時特例交付金」の交付を決定しました。千葉県は、この特例交付金を活用して、香取海匝保健医療圏と山武長生夷隅保健医療圏の 2 か所の地域医療再生計画を策定し、国に採択されました。

香取海匝地域における医療再生計画では、全県的な医師確保体制を整備する中で、各自治体病院の役割分担、機能再編、ネットワーク化の推進をめざし、急性期医療の拠点機能や地域連携病院等の支援機能の強化、地域医療支援病床の確保が進められるとともに、地域医療の研究や医師の研修・派遣、病院経営の安定化支援をめざして、拠点病院である旭中央病院に「地域医療支援センター」が開設されることになりました。

2. 地域医療支援センターの役割（4つのユニットの設置）

地域医療支援センターは、医師・看護師等、医療を担う人材を育成・確保することを通じて、近隣病院への医師派遣、地域医療連携、臨床研究支援、教育支援を行います。目的実現のためには魅力的な研修・研究システムの構築が必須であることから、当センター内に：①地域医療連携ユニット ②診療支援タスクフォース ③臨床研究支援ユニット ④教育ユニット の4つを設置いたしました。各ユニットは、主に下記の役割を担います。



3. 教育ユニット：「スキルセンター」の概要

教育ユニットには、地域の医療従事者のスキル向上のための「スキルセンター」を設置しました。約 1600 m²の広さに、3つの救急トレーニング室、診療科に応じたトレーニング室や研修室等を用意し、医師向け、看護師向け、救急トレーニング用など、30種類以上の医療シミュレータを装備しました。

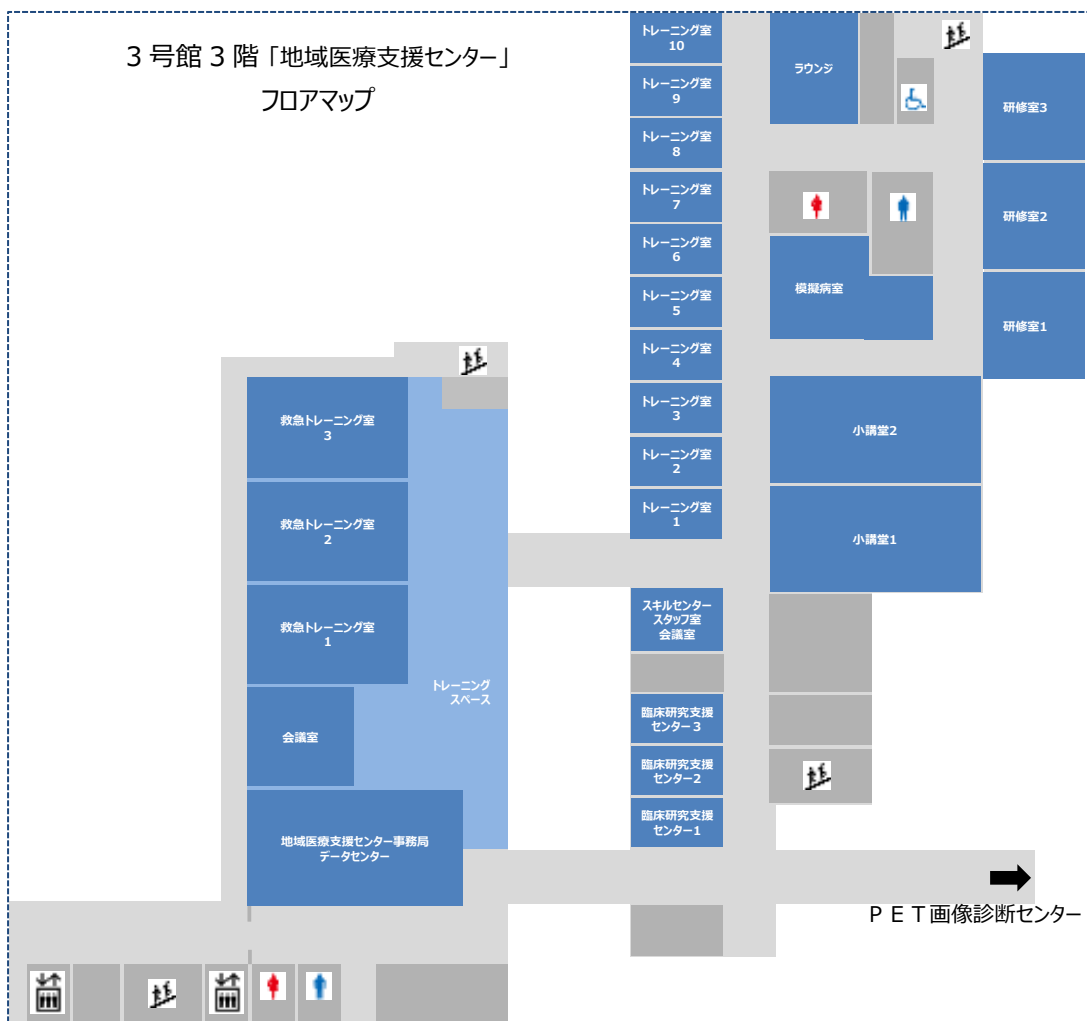
当ユニットはこれまですでに、当院医師や看護師のほか、地域の救命救急士を対象にした「第1回千葉県東部地域NCAP（救急隊員のための病院前分娩介助教育プログラム）」や、日本 ACLS 協会による「BLS（成人、乳児、小児の一次救命処置、二次救命処置を学ぶコース）」などに利用されています。トレーニングプログラムの運用調整や管理は、専任職員が常駐する地域医療支援センター事務局が行います。

【整備されている医療シミュレータ ※2012年3月現在】

目的	機器名
内視鏡・超音波トレーニング用	気管支・消化器内視鏡シミュレータ
内視鏡外科トレーニング用	内視鏡手術トレーニングシミュレータ
脳外科トレーニング用	血管縫合トレーニング顕微鏡
小児科トレーニング用	高機能患者シミュレータ 乳児モデル
	小児手背静脈注射シミュレータ
	乳児気道管理トレーナー
	新生児気道管理トレーナー
	小児心配蘇生用トレーニングマネキン
	小児CPRトレーニングマネキン
産婦人科トレーニング用	高度分娩シミュレータ
	分娩介助協カトレーナー
	新生児蘇生モデル
救急トレーニング	二次救命処置訓練用マネキン
	救急トレーニング機器一式
医師・看護師用	腰椎・硬膜外穿刺シミュレータ
	動脈採血シミュレータ
	採血・静脈シミュレータ
	採血静注練習キット
	皮内注射シミュレータ
	上腕筋肉注射シミュレータ
	縫合手技トレーニング
	外科包帯シミュレータ
	気道管理トレーナー
	吸引シミュレータ
	中心静脈栄養チューブ管理トレーニング
	褥瘡ケアシミュレータ
	導尿・浣腸シミュレータ
	フィジカルアセスメントモデル
	小児看護実習モデル
	片マヒ体験スーツ
小児実習モデル	

4. 地域医療支援センター施設のご案内

3号館3階の地域医療支援センターには、トレーニング室のほかにも、会議室や研修室、臨床研究支援センターが整備されています。また、「地域医療連携ユニット」は、2号館1階の「地域医療連携センター」内にされています。



フィジカルアセスメントモデル



CVC穿刺挿入シミュレータ



呼吸音聴診シミュレータ



気道管理トレーナー



新生児蘇生モデル



高度分娩シミュレータ



研修施設や会議室も充実



模擬病室



ラウンジ

5. 地域医療支援センターの開設にあたって



千葉県東部には診療科目が重複した中規模病院が多いえ、慢性的な医師不足に悩んでおり、従前より地域の医療ニーズに充分応えられない状況が続いておりました。その結果おのずと当院に患者様が集中し、当院自体の受入機能もパンク寸前となっておりました。

この状況を克服するため、国から県に交付された地域医療再生特別交付金を活用し、当地域の病院機能の再編成と当院を中心とした連携体制の強化をはかるべく、県・千葉大学と協働で準備を進めてまいりました。

まず、香取海浜医療圏内の病院からがんや心臓疾患などの高度な医療を必要とする患者様を受け入れるために、当院内に地域医療連携支援病床 33 床を増設しました。同時に、救急受け入れを中心に、当院自体の機能と体制の強化を図りました。

「地域医療支援センター」の 4 つの機能もすでに稼働を始めており、「診療タスクフォース」では、千葉大学のご協力を得て H23 年度より数名の医師を連携医療機関に派遣しています。「地域医療連携ユニット」では、先述の地域医療連携支援病床の増設をはじめ、地域連携パスの促進や病院間の診療データの共有化に向けた医療 IT ネットワークの整備を進めています。また、「教育ユニット」では、地域の医療従事者のスキル向上を目的としたトレーニングやセミナーなどが始まっています。「臨床研究支援ユニット」では、臨床に時間を取られがちな医師に研究の機会と時間を提供し、財政面も含めて支援するべく、体制を整えております。

これまで当院が行ってきた地域の拠点病院としての様々な取り組みに加え、今後は地域の医療ならびに医療従事者の育成・研修を担うセンターとして、当地域の医療再生に寄与できますことを光栄に思うと同時に、期待に応えられるよう努力してまいり所存です。

最後に、当センターの開設にあたりご協力を頂いた千葉県ならびに千葉大学様に、心より感謝を申し上げます。

総合病院国保旭中央病院 病院長 吉田 象二

6. 旭中央病院について

【基本理念】

～すべては患者様のために～

私たちは地域の皆様の健康を守るために、常に研鑽に努め、
医学的にも経済的にも社会的にも適正な模範的医療を提供します。

総合病院国保旭中央病院は 2013 年に開院 60 周年を迎えます。千葉県東部ならびに茨城県南部を含む診療圏人口 100 万人の基幹病院として、毎日約 3,000 人超の外来患者様にご利用いただいています。

2006 年に開始した再整備事業の主軸ともいえる新本館が 2011 年 5 月より稼働を開始し、アメニティーと効率性の向上が図られ、高耐震性の基幹災害医療センター、最新の情報ネットワークを備えたインテリジェントホスピタルとして、その機能を一新しました。また、地域医療ネットワークの拠点として、地域医療連携支援病床 33 床の増床、救命救急センターの機能的配置、血管内治療用のハイブリッド手術室の新設、40 床の化学療法センターの配置、高度先進医療機器の更新・新規導入など様々な機能の充実を図り、地域住民および保健・医療・介護・福祉関係者の期待に応える体制を整えました。

- ◇ 診療科：全 36 科
- ◇ 病床数：989（一般 769 精神 220）
- ◇ 医師数：248 名（2012 年 3 月 1 日現在）
- ◇ 年間救急外来患者数：約 60,000 人
- ◇ 平均在院日数：一般 12.6 日（2012 年 2 月）
- ◇ 看護師配置：一般病棟「7：1」



日本医療機能評価機構認定病院



ISO9001認定病院



総合病院 国保旭中央病院